



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2015年 1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp



公益財団法人 日本太鼓財団
会 長 松本 英昭

年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、つつがなく新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、大雪・大雨の被害、火山の噴火等天災の多い年でした。一方、冬季オリンピックでの羽生選手の金メダル獲得、日本人科学者3名のノーベル物理学賞受賞等明るい出来事もありました。

そのような社会状況の中、日本太鼓財団として会員の皆様のご協力を得て、所定の事業を計画通り実施することができました。

3月に、福島県郡山市において第16回ジュニアコンクールを開催、地元福島県「岩代国郡山うねめ太鼓保存会小若組」が見事優勝に輝きました。16回目を迎える本大会で初めて優勝旗が箱根の関を超えました。なお本大会に出場した台湾チームが準優勝、ブラジルチームが第5位に入賞と海外太鼓チームのレベルの向上ぶりが目立ちました。

5月には、音楽・芸術を通じて国際親善を目指す事業を行っている「友情の架け橋音楽国際親善協会」の共催を得てチャリティコンサートを東京都港区において内外のオピニオンリーダーを集め開催、来場者から頂戴した募金を全額同会にお渡ししました。7月には、岩手県奥州市において全国フェスティバルを開催し、全国から参加した優秀チームの高い演奏技術に会場に詰めかけた観客から大きな拍手が寄せられました。初めて大阪での開催となった全国障害者大会を10月に大阪府大東市で開催、日頃の練習の成果を発揮していただきました。11回目となるシニアコンクールも11月に石川県津幡町で開催、永年培ってきたシニアならではの円熟味のある演奏を披露し、秩父夜祭において山車の中で打たれる秩父屋台囃子を演奏した埼玉県の「高野右吉」氏が名

人位に輝きました。

また11月に秋田県横手市で行われた「国民文化祭太鼓の祭典」において秋田県支部のご尽力により当財団が初めて主催者の一員となりました。

財団事業のもう一方の柱である演奏技術の向上と後継者の育成を図るための講習会も全国講習会を3回、支部講習会を3回開催いたしました。その他、学校教職員を対象にした教職員研修会は、支部主催により全国で7回開催されました。

国際交流事業としては、前述のジュニアコンクールにブラジル、台湾チームを招聘したほか、12月にミャンマーへ「甲州ろうあ太鼓」を派遣いたしました。

特に台湾とは、日本と距離的に近いことから交流が一層進み、台湾での講習会、ジュニアコンクールに講師・審査員を派遣する一方、2月に佐賀県で開催した当財団の全国講習会には、台湾から大勢の受講者が参加しました。

本年3月に長野市で開催するジュニアコンクールには、ブラジル・台湾に加え、新たにアルゼンチンのチームが参加する予定になっており、日本太鼓の国際化が一層進んでいることを実感いたします。

このように日本太鼓が内外において益々普及する中、新しく迎えた2015年においても全国フェスティバルを始めとする演奏会事業や全国講習会等の技術普及事業については、当該支部のご協力を得ながら内容を充実させて進めてまいりたいと思っております。

日本の太鼓界を取り巻く昨今の社会環境は、出演機会の減少、地方自治体からの助成金の減少、少子化による後継者不足等厳しいものがあります。日本太鼓財団としてこの厳しい社会情勢のなかで財団の設立目的である日本太鼓の普及・振興を今後とも図っていくため、支部・会員の皆様との協調、連携をとりながら事業運営に当たりたいと考えております。

最後に2015年が日本太鼓界と会員の皆様にとって良い年になるようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

第11回日本太鼓シニアコンクール開催 ～文部科学大臣賞を目指して全国より29組101名が参加～

11月23日(日)石川県津幡町「津幡町文化会館シグナス」において第11回日本太鼓シニアコンクールが開催されました。この大会は、60歳以上のシニア層を対象として近年に多い、激しく速い太鼓とは違う味わい深い演奏を披露するとともに、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指して実施しているものです。第3回目より文部科学大臣賞が下付されております。

11回目を迎えた今回は17都道府県から29組101名が参加して開催されました。今大会で栄えある名人位となり文部科学大臣賞を手にしたのは埼玉県から参加の高野右吉氏(「高野右吉と秩父社中」・72歳)でした。迫力ある太鼓が観客を魅了する好演でした。

<結果>(敬称略)

名人位

高野 右吉(高野右吉と秩父社中・埼玉)

準名人

古屋 邦夫(御諏訪太鼓保存会・長野)

松本 敏春(加賀の太鼓「無限」・石川)

野方 嘉孝(大和太鼓保存会・佐賀)

特別賞

黒土 勇(久山樺太鼓 響生会・福岡)

山田 誠一(坂井市無形民俗文化財火の太鼓保存会・福井)

野本 敏章(正八幡宮飛龍八幡太鼓奉友会・福岡)

大森太鼓愛好会(秋田)

松岡 秀春(尾張新次郎太鼓保存会・愛知)

岡田 博勝(山城ノ國 和太鼓 鼓粋・大阪)

西川 清昭(氷見有磯太鼓保存会・富山)

橋本 光司(橋本流地獄太鼓和太鼓會・北海道)

*高野新名人から寄稿して頂きましたのでご紹介いたします。

日本太鼓シニアコンクールで名人位を獲得して 高野右吉と秩父社中 高野右吉

まずは、名誉ある大会に出場する機会を与えていただきましたことに感謝いたします。大会当日は、控室に入ると知っている仲間も多く、リラックスして出番を待つことができました。ところが、本番が近づくとつれ、手の筋肉が動かないのではないかと、玉入れという至難の曲を打つには筋肉を温めておかないと細かい動きが出来ないため、不安になりました。また、秩父屋台囃子は高齢者には、非常に厳しい曲であり、地元でもほとんどの者が四十代で引退していますが、生きている限り、現役でいたいと願う私は毎日毎日、鍛錬し、年齢に挑戦し続けてきました。さらに、今回は、なぜか今までにない緊張も経験しました。天皇陛下の御前でも、自然体で演奏できたのに、こんなことは初めてです。

結果発表で緊張感は最高潮になりましたが、毎日練習して、精進してきた力のすべてを出したのだから、結果は結果でこの一年間と自分の今後の太鼓人生の自信としていけば良いのだと思いました。

しかし、結果発表で名人位として自分の名が呼ばれた時は、この上ない感動が込み上げてきました。

塩見理事長より文部科学大臣賞を手渡された時には嬉しさで不覚にも涙があふれてしまいました。無形文化財秩父屋台囃子保持者の父に追いつけ追い越せと努力してきましたがこれで父に一步近づけることができたと感じます。「受賞はフィナーレでなく、プロローグのつもりで」という言葉を胸に、これからも修行に励み、後継者育成に尽力していく覚悟があります。

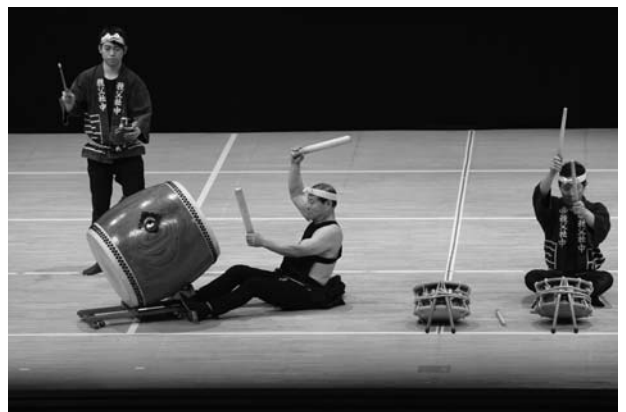
結びに私を応援し続けてくれた弟子、いつも協力してくれた家族に感謝します。また、大会の開催にあたり尽力されました太鼓財団、関係者各位に衷心より御礼を申し上げますとともに、大会の益々の発展をお祈りいたします。



(開会式の様子)



(表彰式)



(写真中央・高野新名人の演奏)



(準名人 古屋邦夫・長野)



(準名人 松本敏春・石川)



(準名人 野方嘉孝・佐賀)

審査委員

(敬称略)

- 塩見 和子(審査委員長・財団理事長)
- 江頭 啓輔(三菱ふそうトラック・バス(株)相談役)
- 福光松太郎(株福光屋代表取締役社長)
- 浅野 義幸((公社)石川県太鼓連盟会長)
- 大場 吉美(金沢学院大学教授)
- 長谷川 義(全九州太鼓連合名誉会長)

創エネ・あかりパークにて太鼓演奏協力

10月31日(金)当財団理事であり世界的な照明デザイナーである石井幹子氏がプロデュースされた「創エネ・あかりパーク2014」(東京・上野恩賜公園)が開催され、2013年に引き続き協力要請を受けて太鼓団体を派遣しイベントに協力しました。会場では最新の光技術を組み合わせ、様々な美しい明りが灯され、周囲のテントでは「あかり」に関する体験が行われていました。「富岳太鼓」(静岡)、「高野右吉と秩父社中」(埼玉)、「岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組」(福島)、「助六太鼓保存会」(東京)がそれぞれ得意曲を演奏すると、その迫りに約500名のお客様がステージに集まり、熱心に見入っていました。



(富岳太鼓・静岡)



(高野右吉と秩父社中・埼玉)



(岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組・福島)



(助六太鼓保存会・東京)
【あかりパーク写真提供:三好英輔】

ミャンマー日本太鼓公演 ～障害者に対する意識向上に貢献～

12月1日(月)から12月9日(火)にかけてミャンマーに、甲州ろうあ太鼓(代表井上直光氏・山梨)を派遣しました。これは2008年のカンボジア公演に始まった日本財団が障害者に対する意識改革と啓蒙活動を行う事業の一環で行っているもので、2013年に続いてミャンマーへ障害者の太鼓チームの派遣要請を受け実現したものです。

2日(火)にヤンゴンより2006年から首都になったネピドーに向かいました。ミャンマー唯一の高速道路は太鼓積載のトラックは通行できず、一般道路をひた走り9時間もかけて到着。一行は、高速道路を使用しましたが、高速も凸凹がひどく6時間かかりました。3日(水)はネピドーで「ASEAN障害者芸術祭」のオープニングセレモニーがあり、演奏を行いました。珍しい日本太鼓の演奏に、観客は大いに盛り上がりました。翌日はヤンゴンへ移動し、ミャンマー在日日本国大使館・樋口建史大使を表敬訪問いたしました。



(障害者芸術祭での演奏の様子)

<派遣メンバー>

甲州ろうあ太鼓:井上直光(代表)、
桜木力、長田和久、山口龍太、狐塚亮、杉山悠美、
小野智弘
(公財)日本太鼓財団:塩見和子(理事長)
秋田稔(総務部長)、印出公平(事業課長)

5日(金)は国立盲学校を訪問、子ども達は太鼓に大喜びで、一緒に太鼓を体験してもらうなど交流を深めました。感性豊かな子供たちで無心に太鼓を打つ姿が印象的でした。夜は再び「ASEAN障害者芸術祭」で演奏を行い、7日のクロージングセレモニーには満員となる1,500名の観客を前に演奏を披露いたしました。式典では関係者から出演した10か国の代表に感謝状が授与され、太鼓演奏には特に大きな拍手が送られ式典は終了しました。

ミャンマーの12月～2月は、乾季で快適と聞いていました。ネピドーでは、多くの人が早朝・夕方にコートを着込んでいる程で、日中は25℃程度でしたが、ヤンゴンに戻ると気温が33℃にもなり、湿度80%以上と非常に蒸し暑く驚きました。甲州ろうあのメンバーは国により違いはあるものの、手話を通じて現地の方々との親睦を深めていました。

今回の公演で、太鼓を通じて障害者の地位向上を訴えるとともに、障害者自身の意識向上を図ることができました。



(芸術祭の出演団体)



(現地のろうあの方と一緒に記念撮影)

<第62回日本太鼓支部講習会(北海道道北)>

10月25・26日(土日)北海道道北支部主催による支部講習会が北海道旭川市の「旭川市忠和地区センター」で行われました。地元北海道から、33名が参加しました。開会式では安田優司支部長から歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。受講生たちは一生懸命、講習に励んでいました。

○基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
4級基本講座 橋本 光司
5級基本講座 渡辺 洋一

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

4級基本講座 18名受験 18名合格
5級基本講座 15名受験 15名合格



(4級基本講座)

第29回国民文化祭・あきた2014太鼓の祭典

11月2日(日)秋田県横手市の「あきたふるさと村ドーム劇場」において「第29回国民文化祭・あきた2014太鼓の祭典」が開催されました。国民文化祭は1986年に第1回目が東京で開催されて以降、全国持ち回りで開催しており、今年で29回目を迎えます。今回は秋田県支部のご尽力により初めて主催団体の一員となりました。

開会式では主催者を代表して当財団塩見理事長が挨拶、全国14県から34団体が出演し、太鼓の技を披露しました。あいにくの雨模様でしたが、開演前から多くのお客様が並ばれるなど賑わいをみせ、盛況裡に終了いたしました。来年度は10月31日(土)・11月1日(日)の2日間、鹿児島県出水市の「出水市文化会館」で「和太鼓の祭典」が開催され、当財団も主催団体となる予定です。



(合同演奏の様子)

第3回東北太鼓ジュニアコンクール・第23回東北太鼓フェスティバル

東北太鼓連合の主催による「第3回東北太鼓ジュニアコンクール」が、東北6県より17団体が参加して行われました。また、あわせて「第23回東北太鼓フェスティバル」が開催され各県を代表する6団体が出演し、約1,000名の観客を集め盛況裡に終了いたしました。

<結果>

- 優勝 あそびっ鼓組“遊”(青森)
準優勝 奥州水沢颯人和太鼓乃会(岩手)
3位 高倉薬太鼓(宮城)
4位 大船渡東高等学校太鼓部(岩手)
5位 山木屋太鼓(福島)
- 特別賞
日本太鼓財団賞 念珠関辨天太鼓子供会(山形)
浅野太鼓楽器店賞 相馬高等学校相馬太鼓部(福島)
諏訪響太鼓店賞 松川一の宮太鼓 はな組(岩手)
鈴木太鼓店賞 和紙の里和雅美太鼓(福島)



(優勝「あそびっ鼓組“遊”」・青森)

第9回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール

「第9回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール」が12月21日(日)に鹿児島県鹿児島市において開催されました。詳細は次号お知らせ致します。

訃報

日本太鼓の普及、発展のためにご尽力いただきました松本源之助氏が2014年11月10日にご逝去されました。(享年90歳)

松本氏は江戸里神楽土師流四代目家元として国内外で活躍された一方、1997年11月の(財)日本太鼓連盟設立時より評議員に就任されるとともに、東京都支部が発足した2000年6月より支部長を務めておられました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。



日本太鼓の普及、発展のためにご尽力いただきました林敏三氏(福光もちつき太鼓・富山)が2014年11月22日ご逝去されました。(享年65歳)

林氏は福光もちつき太鼓のメンバーとして当財団の事業に積極的にご協力いただきました。2007年の日本太鼓全国フェスティバルや2012年の日本太鼓シニアコンクールなどでの活躍が目につかれます。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。



***日本財団が助成している「日系スカラーシップ・夢の実現プロジェクト」により、日本で太鼓を学ぶため留学中の栄口カロリーナさんに前号に引き続きご寄稿いただきました。**

皆さん、こんにちは！アルゼンチンから来た、栄口カロリーナです。

今回は「第18回日本太鼓全国フェスティバル」と「第17回日本太鼓ジュニアコンクール長野県大会」を見に行った時の事について書こうと思います。

7月5日、日本太鼓全国フェスティバルを見に岩手県奥州市まで御諏訪太鼓のメンバーと一緒に行きました。フェスティバルの前日にはリハーサルを見学し、日本ではどのように照明や音のチェックをするのか、太鼓の配置を決めるのかなど、細かい準備を見学することが出来、とても勉強になりました。その日の夜は出場団体のメンバーやスタッフの方々と食事会があり挨拶と面白い話がいっぱいできました。

フェスティバルはとても楽しかった！日本全国から出場された10団体の様々な日本太鼓を見る事ができて、大変素晴らしい経験になりました。

日本太鼓ジュニアコンクール長野県大会は、8月24日に行われました。毎年行われ、優勝チームは翌年3月に開催される日本太鼓ジュニアコンクールの全国大会に出場できます。そのために、参加チームはずっと前から練習を頑張っていますので子供の頑張る気持ちが見えるステージを一日中楽しむ事ができました。

あまりに上手だったので、全員が子供だということが信じられませんでした！特に優勝したチームのレベルはとても高くて、大人より上手に感じられたほどでした。5才の子供たちが見せた子供と思えないようなパワーには心から感動しました。

今年の3月に長野で開催されるジュニアコンクールにも行く予定ですので、今から楽しみにしています。

この間、長野県で大きな地震がありました。ブエノスアイレスでは地震がありませんから、本当にびっくりしました！一人で家にいたので、とても怖かったです。でもその後で、私も友人たちも皆大丈夫なことがわかってほっとしました。被害にあわれた方は早く安心できることを祈っています。

皆さんにお伝えしたい事がまだまだありますので、また書かせていただきたいと思います。どうぞお付き合い下さい！



(太鼓の修理をしている様子)

第6期公認指導員更新研修会の案内

日本太鼓資格認定規程の定めにより3年毎に行われる公認指導員の第6期更新研修会は、以下のとおり2015年度の日本太鼓全国講習会と北海道の支部講習会に併せて実施します。対象者は2015年3月31日付、1級技術認定員に降格中の方を含む全ての公認指導員です。

○第1回(第53回日本太鼓全国講習会)

6月13・14日(土日) 会場：島田市川根文化センター(静岡県島田市)

○第2回(第54回日本太鼓全国講習会)

9月12・13日(土日) 会場：田尻文化センター(宮城県大崎市)

○第3回(日本太鼓支部講習会・北海道道西)

10月24・25日(土日) 会場：ほっとかんアリーナ(北海道岩見沢市)

○第4回(第55回日本太鼓全国講習会)

2016年2月20・21日(土日) 会場：シーハットおおむら(長崎県大村市)

***不参加の場合は、公認指導員としての資格が停止、降格、喪失等となりますのでご注意ください。**

詳細につきましては4月に書面にてお知らせいたします。

ホームページでも随時更新いたしますのでご覧ください。 <http://www.nippon-taiko.or.jp>

ジュニアコンクール出場団体決定!

名称: 第17回日本太鼓ジュニアコンクール(内閣総理大臣賞・総務大臣賞・文部科学大臣賞下付予定)

期日: 2015年3月22日(日)開場9:30 開演10:00 閉会式終了予定19:00

会場: ホクト文化ホール(長野県長野市若里1-1-3) Tel. 026-226-0008

入場料: 前売券2,000円 当日券2,500円

(チケットぴあにて2月1日より販売開始! Tel. 0570-02-9999 Pコード252-265)

***今回もインターネットにより生中継いたします! 遠方で会場にお越しになれない方は、
当財団ホームページよりご覧頂けます。 <http://www.nippon-taiko.or.jp>**

出場団体: 54チーム【国内52チーム(36都道府県)、ブラジル、台湾代表チーム】

予選実施: 40支部441チーム4,559名、支部推薦6チーム(海外の予選含む)

※今年アルゼンチンから「日垂・プエノスアイレス太鼓」が特別出演いたします!

道東: 北海道くしろ蝦夷太鼓ジュニア

道央: 追分いぶき太鼓

道西: 赤平火太鼓保存会

道南: 厚真郷芸保存会

道北: 永山屯田太鼓Jr. 翔

青森: あそびっ鼓組“遊”

岩手: 岩手県立大船渡東高等学校和太鼓部

宮城: 高倉薬太鼓

秋田: やまばと太鼓

山形: 念珠関辨天太鼓子供会

福島: 和紙の里和雅美太鼓

茨城: 本陣太鼓

栃木: 岩舟武蔵太鼓Jr. 一和組

群馬: 群馬県立藤岡中央高等学校和太鼓部「ひびき」

埼玉: 川越ふじ太鼓

千葉: 太鼓衆楽(疾風組)

東京: 鼓遊

東京都都立美原高等学校和太鼓部

神奈川: 海老名東柏太鼓

富山: 越中いさみ太鼓保存会春蘭

石川: 手取亢龍若鮎組

輪島・和太鼓虎之介

福留じょんがら太鼓龍青

福井: ハツ杉太鼓遊心

山梨: 甲斐和太鼓衆信玄太鼓・飛竜

長野: 信濃国松川響岳太鼓子供会

青木村義民太鼓保存会こまゆみ会

信州上田真田陣太鼓保存会真田大助隊

特別出演: 岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組(第16回ジュニアコンクール優勝チーム)

日垂・プエノスアイレス太鼓(アルゼンチン)

*大会規定により、支部予選で21チーム以上の参加があった場合は2チーム、31チーム以上の場合は3チームが出場できます。これにより、石川・熊本・宮崎から3チーム、東京・静岡・福岡・佐賀の各支部から2チーム、また、大会開催地の長野県支部からは3チームが参加します。

なお、今回不参加の支部は新潟・奈良・岡山・鳥取・徳島・沖縄の6支部です。

事務局だより

2015年度事業予定

正式には、3月の当財団の理事会、評議員会を経て決定いたしますが、取り急ぎ新年度の予定をお知らせします。*各種事業のお問い合わせは財団事務局まで！ホームページでも情報を随時更新しています。

公益財団法人日本太鼓財団 〒107-0052港区赤坂1-2-2 Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580
メール info@nippon-taiko.or.jp ホームページ <http://www.nippon-taiko.or.jp>

- 第19回日本太鼓チャリティコンサート
期日：2015年6月18日(木)
場所：草月ホール(東京都港区)
- 第19回日本太鼓全国フェスティバル
期日：2015年9月27日(日)
場所：倉敷市芸文館(岡山県倉敷市)
- 第17回日本太鼓全国障害者大会
期日：2015年10月4日(日)
場所：こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)
- 第12回日本太鼓シニアコンクール
期日：2015年11月22日(日)
場所：輪島市文化会館(石川県輪島市)
- 第18回日本太鼓ジュニアコンクール
期日：2016年3月20日(日)
場所：iichiko総合文化センター(大分県大分市)
- <参考>
- 第4回東北ジュニアコンクール
期日：2015年11月8日(日)
場所：奥州市文化会館Zホール(岩手県奥州市)
- 第10回全九州ジュニアコンクール
期日：2015年12月23日(水・祝)
場所：アルカスSASEBO(長崎県佐世保市)
- 第53回日本太鼓全国講習会
期日：2015年6月13・14日(土日)
場所：島田市川根文化センター(静岡県島田市)
- 第54回日本太鼓全国講習会
期日：2015年9月12・13日(土日)
場所：田尻文化センター(宮城県大崎市)
- 第55回日本太鼓全国講習会
期日：2016年2月20・21日(土日)
場所：シーハットおおむら(長崎県大村市)
- 日本太鼓支部講習会
5月16・17日(土日) 茨城県支部
8月22・23日(土日) 大阪府支部
10月24・25日(土日) 北海道道西支部 ほか
*開催希望の支部は財団事務局にお問合せ願います。
- 海外講習会
台湾(台湾太鼓協会主催)
ブラジル(ブラジル太鼓協会主催)

第52回日本太鼓全国講習会(鹿児島県鹿児島市)

期日：2015年2月21日・22日(土日)

会場：鹿児島県立青少年研修センター 鹿児島県鹿児島市宮之浦町4226-1 TEL:099-294-2111

主催：(公財)日本太鼓財団

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

3級基本講座 安江 信寿

4級基本講座 若山 雷門

5級基本講座(初心者講座) 田中 俊己

専門講座

御諏訪太鼓講座(複式単打法) 松枝 明美(長野県)

八丈太鼓講座(単式複打法) 菊池 修(東京都)

源流太鼓講座(複式複打法) 長谷川 義(大分県)

申込先：(公財)日本太鼓財団

〒107-0052東京都港区赤坂1-2-2

TEL 03-6229-5577 FAX 03-6229-5580

お問い合わせ：日本太鼓財団鹿児島県支部

担当：前田 茂樹 TEL 090-1929-8137

締切：2015年2月1日(日) 当日到着分まで有効

第63回日本太鼓支部講習会(東京都港区)

期日：2015年2月14・15日(土日)

主催：日本太鼓財団東京都支部

会場：日本財団ビル 東京都港区赤坂1-2-2 TEL:03-6229-5577

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

3級基本講座 松枝 明美

4級基本講座 三浦 一浩

5級基本講座(初心者講座) 渡辺 洋一

お問い合わせ・申込先

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-46-8

日本太鼓財団東京都支部 事務局長 湯澤 元一

TEL 090-1996-2582 FAX 03-3730-3428

締切：2015年1月26日(月) 当日到着分まで有効